

タイトル：未定

ジャンル：???

あらすじ

ある日突如として眠った人間が無差別に人々を襲い始めるという事例が発生し、多くの人  
がその現象によって命を落とした。その日を境に人間は眠ると意識のない殺人鬼と化して  
しまう一種の夢遊病者「スリーパー」となってしまう、人々は強制覚醒薬によって 365 日  
を不眠で過ごし、眠りに就いた者は「眠罪」として極刑を課されてしまう「眠らない世界」  
の住人と化した。主人公「寝宮光智」はある日、耐え切れずに眠ってしまうが、眠っている  
間「スリーパー」と化す事はなく誰も襲わずに「ただ眠っていた」だけであった。「夢見人」  
と見なされた寝宮は、不眠軍や研究機関、政府の刺客、危険団体「DEADorSLEEP」等に追  
われる身に。そんな折に協力者を名乗る少女「ララバイ」が現れ逃亡の手引きを受ける。そ  
の少女「ララバイ」は、寝宮の見た夢に出てきた少女に瓜二つなのだった。

設定、用語

・スリーパー

眠りながら人々を襲いその命を奪う存在となり果てた者。別称「居眠り殺人鬼」。個人差に  
よるが、身体能力が極度に高まる例なども報告されている。

・強制覚醒薬

読んで字の如く眠気が生じた際に服用すると目が覚める薬。眠気を覚ますだけではなく、常  
時眠らずに活動している事により異常をきたす精神面も矯正される。

・不眠軍

スリーパーを捕らえる為に眠りを克服した人間達で構成された軍団。

…と、いうのは表向きで、その実態は死刑囚や後述の実験で犠牲となった被験者達の死体を  
「再利用」したもの。

・DEADorSLEEP

「眠い時は眠る」をスローガンにかがげ活動しているスリーパー集団。眠くなったら普通に  
眠りスリーパーとなるので、当然多数の罪なき人々が犠牲になっている。が、彼等は「眠る  
事が禁止されてしまったこの世界から永遠の眠りという形で解放してあげている」という  
歪な思想の元眠っている為、話が通じる事を期待しない方がいい。

・夢見人

寝宮のように眠ってもスリーパーにならない稀有な存在。夢見人は皆、眠ると何かしらの「夢」を見ている。夢遊病とはノンレム睡眠と呼ばれる深い睡眠（夢を見ない程に熟睡している状態）の時に生じる睡眠障害なので、この騒動と夢の関係性について目をつけた研究機関等に捕らえられ、人体実験の被験者にされている夢見人も少なくはない。

#### ・ナイトメア・モルペウス

研究機関が秘密裏に開発を進めている対スリーパー矯正機械。対象者（スリーパー）がトラウマとなっている出来事や潜在的に恐ろしいと思っているモノなどに纏わる誇張した悪夢を体験させ、スリーパーを「矯正」し、眠っても凶暴化しないようにするという半ば荒療治なマシン。これまで幾度となく捕らえられたスリーパーを使用した実験が繰り返されてきたが、結果は何れも精神崩壊を招き廃人と化すか、ショック死を引き起こすばかりで失敗続きである。

#### ・ドリームブローカー

「夢」を売ってくれるらしいと囁かれる都市伝説的な存在。なんでも購入した「夢」を使用すると、多幸福感に包まれた夢を見ながら眠れるのだとか。その上、ドリームブローカーから入手した夢は不眠軍にもそうそう足が付く事はなく、バレずに夢見人にもなれるので巷では義賊的に見られており、称える者も存在するが…？

### 主な登場人物

#### ・寝宮光智（しんぐうみつとも）

主人公。ある日遂に限界を迎え眠ってしまい、夢見人となる。夢の中で出会った少女とそっくりな「ララバイ」と名乗る少女の協力を受け、なんとか逃亡生活を続けている。

#### ・ララバイ

追われる身となった寝宮の前に突如として現れた謎の少女。何故か寝宮の逃亡に協力し、気づけば何故か忽然と消え失せている。その素性は一切不明。

推定10～13歳程だが、幼さを感じさせない高身長と少しばかりの幼さを見せる可憐なかんばせの持ち主。追手の不眠軍を不思議な力で一掃するなどどこか人間離れした人物である。

#### ・東橋保栄（あずまばしやすしげ）

DEADorSLEEPのリーダー。一見健康的な好青年だが、その本性は冷酷非道で自分以外の人間に対しての価値を見出せない男。DEADorSLEEPの根底にある「眠る事の許されないこの世界からの解放」という思想も仲間を増やす為の方便に過ぎず、どちらかという「眠

い時は眠る」という DEADorSLEEP の旗幟の方が彼の本心に近い。

・佐久間彰義（さくまあきよし）

日本人とロシア人のハーフである初老の男性。研究機関の所長で、「ナイトメア・モルペウスプロジェクト」の責任者を務めている。昔は穏やかな微笑を湛える人物だったが、ある日を境に笑わなくなった。今では見る影もなく、ただひたすらに人体実験や研究に没頭している。

アメリカ人女性との間に設けた娘がいたらしい。

・ドリームブローカー（仮）

「夢」の売人。とても良質な夢を売ってくれるという噂の男。提供される夢は注射器から接種するタイプ。

ざっくりとした物語の流れ

眠りが大罪となった世界で、主人公の寝宮は出勤途中、耐え切れずに意識を飛ばしてしまう。目を覚ますと周囲を取り囲む野次馬群衆。そこへ駆け付ける不眠軍の兵士達。捕まってしまえばどうなるか分からない程馬鹿ではない寝宮は逃走する。しかし不眠軍はしつこく追跡してくる。そこへ「ララバイ」と名乗る謎の少女が現れ、不眠軍を一掃する。その後寝宮はララバイの手引きを受け、なんとか逃げおおせる。一方その頃、過激派睡眠推奨団体「DEADorSLEEP」もまた夢見人である寝宮を捕らえる為に動き出そうとしていた。

（ざっくりしすぎてて申し訳ございません！）